

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月2日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|----------------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 新冠町役場 | 代表者名 | 鳴海 修司 |
| 担当者部署 | 企画課 | 連絡先電話番号 | 0146-47-2498 |
| 担当者役職 | 企画課長 | 担当者氏名 | 佐渡 健能 |
| | | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 059-2403 北海道新冠町3番地の2 | | |

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 古川 泰人 |
| 評価 | よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 講演テーマでもあった「デジタルと何か」の何かについて、スマートフォンの爆発的な普及により、今後更に社会のシステムがデジタル化していく中で、行政が持つオープンデータを有効活用して新たなサービスを提供し、地域課題の解決や人々の暮らしを豊かにすることにつながるという事例の紹介など、社会の潮流を見極め、何をデジタルと組み合わせて行くことが重要かについて知見を得ることが出来ました。また、ICT利活用の促進にどのように取り組んでいけば良いのかについても、考えるきっかけを得ることができました。 |
| アドバイザーへの要望事項 | |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | 派遣日 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) | 活動時間(分) |
|-----------|-------------|-----------------|--------|------------|---------|
| 3-1. 活動 | 2021年11月22日 | 14時00分 | 15時30分 | | 90 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 新冠町 シ・コード館 シアター | | 最寄駅 | 新冠(バス停) |
| | 所在地 | 新冠郡新冠町字中央町1番地の4 | | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 |
| | 派遣形態 | 講演(実地) | | | |

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|-------------------------|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 町議会議員 役場職員 一般 | 人数 18人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | 永年の懸案であった日高管内全域における光回線の整備が現在進められており、今後はICTの利活用など、超高速回線網を利用した取組みにより、より住みやすい地域、住み続けられる地域としていくかが課題となっておりますが、デジタルと置かれた環境を上手に組み合わせ、無理なく効果的に進められる取組みもあることを講演いただきましたので、ICTの利活用促進について、多くの方々の理解が得られるような取組みを実施していきたい。 | |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | 日高管内のICTの利活用については、日高管内7町が広域的に連携して将来的な行政サービスを維持していく日高広域連携推進協議会の取組みとして今年度より取組みを始めたことから、今後もこういった取組みを積極的に実施して、より多くの方にICTの利活用の先に、住みやすい、住み続けられ地域づくりがあるということも知ってもらえる活動を展開していきたい。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) | デジタルを活用していくためにはオープンデータなど既成の全てのものを、うまく組み合わせることで、デジタルを使いこなす人が、使えない人へのサポートをして次世代の利便性を共有することで、社会全体を変えていくことにつながるという知見を得ることができた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) | デジタルをうまく活用していくためにどのような取組みを今後行っていくべきかについてヒントを得ることができた。具体的には既成のデータ(アナログ・デジタル問わず)との組み合わせやデジタルを使えない方へのアプローチなど、今後の取組みの参考とすることができた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください) | 今回のセミナー開催にあたりコロナ禍の影響により4度の開催期日や時間の変更を余儀なくされ、ZOOMによるセミナーも検討した経緯があり、講師のアドバイスもあり何とか講師を招聘し開催することができたが、更に多くの方に関心と参加を促していきたい。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 開催延期が重なり、現地開催ができるかがぎりぎりまで未定であったため、今回、アンケートは行いませんでした。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある |
| 事業の最終的な目指す姿 | 今後、日高管内も人口減少が急速に進んでいくと推計されています。ICTの利活用を促進させ、地域の活性化と安心して住み続けられる地域づくりにつなげていきたい。 | |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

